

令和2年度 授業改善推進プラン<1年英語>

英語科における昨年度の授業改善推進プランの検証

- 英語での会話に高い関心意欲があるため、授業最初の帯活動で英問英答の会話練習を取り入れ、意欲的に取り組ませることができた。
- 単元毎の小テストや単語テストに対してはよく学習し、知識理解が高まった。
- リスニングに関しては教室英語の多用や英問英答を繰り返すことによって高まったが、読み取る力に関しては十分に指導することができなかった。
- 表現力(書く・話す)に関しては、毎回短時間であっても繰り返すことで定着していった。

英語科における調査結果の分析

- | | |
|----------------------------|---|
| 観
点
別
の
分
析 | <ul style="list-style-type: none">○コミュニケーションへの関心・意欲・態度: 小学校で外国語活動をしてきたこともあり、英語の授業に関して関心・意欲が高い生徒は多い。○外国語表現の能力: 話すことに関しては積極的に既習事項を用いたり、教科書の内容をまねて伝えようとしたりする生徒が多く見られた。しかし書くことに関しては苦手意識が強く、なかなか積極的に取り組めない生徒が多く見られた。○外国語理解の能力: 聞くことに関しては、教室英語を理解しようとする姿勢がよくみられ、リスニングテストを得意とする生徒も多い。読むことに関しては、教科書の内容が少し変化するだけで理解度が下がってしまうため、教科書を読むことに加え、内容を少し変えて練習することが必要だと言える。○言語や文化についての知識・理解: 他国の様子や文化に関しては興味意欲をもって知ろうとする姿勢が見られた。しかし、語彙習得に関しては積極的に取り組む生徒と反復学習を敬遠する生徒と両極端になってきている。 |
|----------------------------|---|

調査結果に基づいた授業改善のポイント

- 英語に対する高い関心や意欲を維持する
 - 生徒がわかりやすい目標を毎時間掲げ、分かりやすい授業を心がける。生徒にとって身近な話題を用いた導入をし、コミュニケーションが楽しいと思える授業を展開し、英語の必要性を気付かせる。また課題や提出物にしっかり取り組めるように徹底して指導する。
- 表現力を高める
 - 何度も繰り返し伝える機会を増やす。そして伝えたことを書く時間も毎時間設定する。学期に1~2回、発表形式のテスト(スピーチテストなど)を実施する。
- 理解力を高める
 - 授業内で教室英語に加え、生徒も英語を使う機会も多く設定する。口頭での英問英答を繰り返し行う。授業内でリーディングの時間を十分に確保し、リスニングのテストを単元ごとに実施する。
- 文化に関する知識理解を深める
 - 教科書の内容に沿って資料を用意し、外国の文化を紹介したり自国の文化と比較させたりする。また、授業で得た知識を英語で伝えるためには、語彙を増やし、それらをつなげていく文法を身に付けなければならないことを理解させる。

令和2年度 授業改善推進プラン〈2年英語〉

英語科における昨年度の授業改善推進プランの検証

取り組みにおける成果と課題

- ・英語学習に関する意欲・関心では個人差が大きく、内容を理解せずに取り組んでいる生徒がいる。生徒同士で手伝えながら会話表現や教科書の音読を繰り返し練習させ、少しずつでも分からせるようにしたい。
- ・単語テストやその練習を繰り返し取り組ませた結果、語彙力には向上が見られた。
- ・インタビューテストやスピーチ発表などの表現活動の練習時間を多く確保し、それが英作文の正答率の高さに結びついた。

英語科における調査結果の分析

内容別の結果分析	<p>○全体的に目標値を上回り、前年度までの学習効果は概ね良好と考えられる。</p> <p>○前学年で学習した基礎的な英語表現はほぼ理解しているようである。しかし、英作文の問題は正答率が前年度と比較すると低く、単語や英文を書かせる活動をさらに増やしていきたい。</p> <p>○リスニング問題は目標値を超えているが、対話分の応答に関しては適切に解答できていない。問題に慣れさせていきたい。</p> <p>○長文読解の問題は、目標値を上回ったものの、内容を正確に捉えることに課題があることがわかった。類似問題を解き、問題に慣れさせたい。</p>
観点別の分析	<p>○「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」については、全体的に正答率は高かった。しかし、英作文の問題において、昨年度より大きく下回ったものがあった。毎回の会話活動をととして苦手意識を克服したい。</p> <p>○「外国語表現の能力」について、場面に応じて書く英作文では上手く語彙を活用することができておらず、正答率が低かった。自己表現活動や会話活動を通じて既習事項の定着を今後も進めたい。</p> <p>○「外国語理解の能力」について、リスニングでは対話文の応答に課題が残った。授業での会話活動から必要な力を伸ばしていきたい。</p> <p>○「言語や文化についての知識・理解」については、疑問文の語法や語彙についての知識を身につける必要がある。</p>

調査結果に基づいた授業改善のポイント

- 英語に対する興味・関心を高め、英語学習に対する意欲を向上させる。
 - わかりやすい授業を心がけ、少人数授業の利点を活かし、生徒の実態に合わせた指導を行う。文法導入では、質問や生徒の身近な話題に触れ、関心を高める。
 - ペアでの会話練習や音読する機会を毎授業設定し、積極的に活動出来る場を増やす。
 - オールイングリッシュでの授業を理解できるように言葉を補いながら指導を行う。
- 英語の文法やスペリングなどの知識・理解をさらに高める。
 - 語彙力が高まるよう単語テストを適宜行う。既習語彙が何度も出てくるよう、指導を工夫する。
- 聞き取り、読み取りの力を伸ばす。
 - リスニング能力向上のため、会話活動に集中して参加させる。
 - 教室内英語を使用し、英問英答で答えられるようにする。
 - リーディングは、アクセントや音のつながりなどに注意しながら、繰り返し音読練習させる。
- 理解力・表現力を身につける。
 - 各課の基本文をしっかり理解させるために、文法の構造を丁寧に指導する。
 - 語順に課題が残るため、語順を意識した練習問題を多く解く時間を確保する。またまとまった英文を書けるように自己表現活動を増やす。またインタビューテストや発表(スピーチ等)を行う。
- 文化に関する知識理解を深める。
 - 日本や他国の文化に対する知識を深められるよう、教科書の内容に沿って資料を提示する。

令和2年度 授業改善推進プラン〈3年英語〉

英語科における昨年度の授業改善推進プランの検証

取り組みにおける成果と課題

- 英語の学習に対する意欲・関心が生徒間に差があり、積極的に学習活動に取り組む生徒と授業の取り組みを理解できずに参加できていない生徒がいる。簡単な英語での会話表現や、リーディング練習を反復して行うことにより、今後も検証を続けながら、教材を改善、工夫しわかりやすい授業を展開していきたい。
- 本年度は、目標値より大幅に上回っているが、校内正答率は前年度とはほぼ同じ数値となっている。
- 語彙の知識・理解が目標値とほぼ同じ数値のため課題が残るが、リスニングや長文の読み取り能力、英作文の問題は目標値を上回り、得た知識を活用する能力が身につけているようである。

英語科における調査結果の分析

内容別の結果分析	<p>○今回の新型全体的に目標値を上回り、前年度までの学習効果は概ね良好と考えられる。</p> <p>○前学年で学習した基礎的な英語表現はほぼ理解しているようであるが、単語を正しく書く練習が必要である。単語テストなどを定期的に取り入れていきたい。</p> <p>○リスニングは目標値より上回っているが、対話の内容を聞き取り適切に応答することが苦手なため、授業内で対話文のリスニング問題を取り扱っていく。</p> <p>○長文を読み取り活用する力もついている。指示に対する答えを正しく読み取り解答することができた。授業内で様々な種類の文章を読み、問題に慣れることでより一層定着を図りたい。</p> <p>○場面に応じて書く英作文は目標値以上に得点できているが、まとまった英文を書く問題の正答率が低い。ため、語彙を活用できるようにテーマをもって書く練習を取り入れる必要がある。</p>
観点別の分析	<p>○「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」については、英作文の問題において目標値を上回ったが、昨年より全体的に差がついた。会話活動から、書く活動につなげ、苦手意識を克服したい。</p> <p>○「外国語表現の能力」について、テーマにそって書く英作文の正答率が低かった。スピーチ活動を行った後には、その内容を自分で英作文としてまとめることを行い、テーマとしてまとまりのある文を書く活動を今後も進めたい。</p> <p>○「外国語理解の能力」について、リスニングでは対話文の聞き取りや適切な応対に課題が残った。授業での会話活動から、返答の例を学び、リスニング能力に繋げたい。</p> <p>○「言語や文化についての知識・理解」については、語彙に課題があることが分かった。単語を正しく書く練習が必要である。授業内でも書く活動を増やし、単語テストなどを定期的に取り入れていきたい。</p>

調査結果に基づいた授業改善のポイント

- 1 英語に対する興味・関心を高め、英語学習に対する意欲を向上させる。
 - 意欲、関心のある生徒間に差があるため、関心を引く題材を用いわかりやすい授業を心がける。
 - 新型コロナウイルス対策を行いながら、短いペア活動を取り入れることで積極的に活動できる場を増やす。
- 2 英語の文法やスペリングなどの知識・理解をさらに高める。
 - 語彙力が身につくよう書く機会・聞く機会を増やす。また単語テストを行う。
- 3 聞き取り、読み取りの力を伸ばす。
 - 会話活動でのリスニング能力向上のため、会話活動に集中して参加させる。
 - 教室内英語を使用し、英問英答で教科書の内容が答えられるようにする。
 - リーディングは、アクセントや音のつながりなどに注意しながら、繰り返し音読練習させる。
- 4 理解力・表現力を身につける。
 - 教科書の基本文をしっかりと理解させるために、文法の構造を丁寧に指導する。
 - まとまった英文を書けるように自己表現活動を増やす。またインタビューテストや発表(スピーチ等)を行う。
- 5 文化に関する知識理解を深める。
 - 日本や他国の文化に対する知識を深められるよう、教科書の内容に沿って資料を提示する。